

## 普及活動の成果

様式6(左)

課題名 : 単収向上を核とした県北アスパラガス産地の再生  
活動対象 : JAながさき西海アスパラガス連絡協議会

振興局名 : 県北振興局  
実施期間 : 平成29年4月～  
平成30年3月

### 【対象の概要】

- ・松浦、平戸、佐世保、小値賀地区からなる、部会員数130名(うち認定農業者81名)、栽培面積約23haの系統生産部会である。
- ・平成27年度に農業生産法人が参入し、経営面積は現在3.3ha(産地面積の14%)となっている。
- ・平成30年3月7日に管内部会が統合し、JAながさき西海アスパラガス部会が発足した。

### 【課題設定の背景】

- ・当該組織の平成28年産平均単収は1,523kg/10a(新活性化計画年度目標の95.2%の達成率)であった。
- ・産地平均単収を下回る単収農家が全体の51%存在しており、農家所得向上のためには単収の引き上げが課題となっている。

### 【活動目標】 成果目標 : 「アスパラガス平均単収 1,700kg/10a の達成」

- ・ステップアップを志向する農家、認定新規就農者等を重点対象農家に位置づけJAと連携した濃密指導を行う。
- ・増収チーム会等での課題解決検討の実施により目標単収達成を目指す。
- ・単収向上対策の1つとして点滴灌水施設の普及と活用指導およびマニュアル作成を行う。
- ・雇用型経営体に対し目標単収達成に向けた栽培技術支援や情報提供を引き続き行う。
- ・担い手農家に対しては新たに集合研修会を開催し効率的に技術研修を行うとともにより広域での生産者同士の情報交換を促進する。
- ・新規就農者には就農計画に沿った生産基盤整備に対する補助事業の活用支援を行う。また、技術面でも計画的なフォローアップを行う。

### 【関係機関との連携(活動体制・役割分担)】

- ・JA : 生産部会活動支援(事務局)、現地技術指導、資材購買、増収チーム会総括
- ・市町 : 新規就農者支援窓口、補助事業予算確保および計画書作成・書類準備
- ・農業委員会 : 新規就農者等の農地確保のための情報提供および手続き等
- ・指導農家(農業生産法人) : 農業生産法人への具体的な技能・技術指導
- ・振興局 : 生産部会および担い手生産者指導、関係機関連絡調整、担当者会総括

### 【活動経過】

- ・重点指導農家12戸に対し、指導カルテをもとに月1～2回/人の個別現地指導をJA指導員と実施した。
- ・JA指導員と振興局普及指導員によるJA増収チーム会を4回、左記に市町担当者を加えた担当者会を3回開催し、技術対策の協議のほか産地支援の内容・活動計画・役割分担等の協議を行った。
- ・平成28年度に点滴灌水施設を12戸1.9haが新たに導入した松浦地区において、活用方法の指導を行った。未導入地区においては5月の集合研修会や12～1月の検討会時に技術の紹介を行った。
- ・平成29年度に補助事業を活用し施設整備および新植を行う新規就農者2戸に対し、関係機関と連携し支援(農地の確保、補助事業活用、制度資金活用、技術指導)を行った。
- ・農業生産法人に対し、当面の栽培管理についてスケジュール協議を5回実施し技術面での支援を行った。
- ・単収向上志向者及び担い手を対象に集合研修会(県北地域アスパラガス担い手研修会)を5月(松浦)、7月(平戸)、11月(松浦、佐世保)に計3回開催した。

### 【普及活動の成果】

- 重点指導農家12戸の平均単収は1,607kg/10aで前年比105%となり、県北全体の前年比が96%と減収する中で増収し、一定の成果が得られた。
- 担当者会を初めて開催し、関係機関における情報共有・協議・合意形成の体制づくりができた。
- 施設・資材等導入以降調査の実施により、全ての生産者の意向把握ができた。また、平成30年度産地パワーアップ事業に向け取組の協議と合意ができた(事業量：延24戸3.7ha)。
- 点滴灌水導入により11%の単収増加効果が得られた。また、点滴灌水施設が新たに60aで導入された。平成30年度の8戸1.1haの導入意向を把握した。
- 2戸34.5aの施設整備および新植が完了した。
- 農業生産法人は夏場の労力不足により目標単収の達成とはならなかったが、12～1月の春芽に向けた全刈りや冬肥施用は概ね計画通り作業が進み、2月上旬に保温開始ができた。
- 県北地域アスパラガス担い手研修会は生産者延べ94名(うち担い手81名)、実43名(うち担い手37名)の参加があり、地域を越えた生産者同士の交流が図られ、単収向上志向者や担い手の技術の底上げができた。

### 【対象の声】

#### ○重点指導農家

- 頻繁に巡回してもらい、自分の圃場の状況を自分自身で説明し振り返る良い機会となっている。良い時も、悪い時も、気持ちも含め担当者と共有できるので、前向きな管理につながっている。

#### ○平成28年度点滴灌水施設導入者

- 特に夏場の灌水、追肥作業が楽になり、追肥回数を増やすことができ出荷数量も伸びた。今後も引き続き活用し、適正管理に努めたい。

#### ○集合研修参加者（担い手）

- 集合研修では、日頃は見たり接する機会がない他地域の生産者の状況を実際に見ながら情報交換ができて大変勉強になった。今後も開催を希望する。

### 【今後の課題】

- 重点指導農家の単収向上については、課題と対策の整理を再度行い、振興局内および関係機関との情報共有、協議を強化する。
- 単収向上のため、根本的に改善が必要な項目（労力不足、排水不良、安定した水源の確保）について、JA増収チーム会や担当者会において対策を協議し解決をはかる。
- 平成30年度は産地パワーアップ事業を活用し導入支援を行う。
- 新植を行う新規栽培者への支援を継続して行うとともに、新規就農者の定着、仲間作り支援のため、集合研修会を新たに開催する。
- 県北地域アスパラガス担い手研修会は部会や担い手の意向を汲みながら継続する。

### 【成果の活用及び普及活動上の留意点】

- なし

### 【発表・参考資料】

- なし